

平成22年度香取市の財務書類4表（概要版）

1. はじめに

地方公共団体の会計については、以前より、単年度の現金収支にかかる財政指標だけでなく、市が保有する資産や将来返済しなければならない負債などのストック情報や行政サービスを実施するために要した費用など、財政状況を総合的かつ長期的に把握し、財務状況をより明確にするために企業会計的手法の導入が求められていました。

このような状況のなか、平成18年8月に総務省から「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」が示され、この指針を受けて、地方公共団体は、財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）と、関係する情報の開示に取り組むこととなりました。

また、この財務書類の整備の目的は、単に書類を作成・公表するだけでなく、市民に対し、財政状況を適切に情報開示することや、庁内における行財政運営に活用する仕組みを併せて検討・実施することにあるといわれています。

香取市では、平成19年10月に国（総務省）が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」の『総務省方式改訂モデル』に基づき財務書類4表を作成しました。

2. 香取市の普通会計財務書類4表

(1) 貸借対照表（バランスシート）

借	方	対前年度 増減額	貸	方	対前年度 増減額			
[資産の部]			[負債の部]					
1	公共資産	91,056,323	647,819	1	固定負債	39,094,923	1,505,960	
2	投資等	8,101,203	258,736	2	流動負債	2,897,387	88,700	
3	流動資産	6,658,834	1,742,695	負債合計		41,992,310	1,594,660	
			[純資産の部]					
			純資産合計		63,824,050	1,054,590		
資産合計			105,816,360	2,649,250	負債・純資産合計		105,816,360	2,649,250

● 資産総額は約1,058億円、対する負債総額は約420億円で、純資産総額は約638億円です。

● 資産総額については、公共資産において、有形固定資産が増加していることと、財政調整基金の積立て等により流動資産も増加していることから、約26億円の増となっています。

● 負債総額については、固定負債の長期未払金において、債務負担行為（指定管理委託料等）による支出予定額が増えていること等から、約16億円の増となっています。

● 市民一人当たりになると、資産は約125万円、負債は約50万円となっています。

※人口は、平成23年3月31日現在の84,317人を使用（以下同じ）。

(2) 行政コスト計算書

H22.4.1～H23.3.31(単位:千円、%)

区分	平成22年度	対前年度 増減額	対前年度 増減率(%)	構成比(%)
経常行政コスト a	25,745,355	△ 886,587	△ 3.3	
1 人にかかるコスト	6,161,284	△ 398,469	△ 6.1%	23.9
2 物にかかるコスト	5,723,087	△ 98,360	△ 1.7	22.2
3 移転支出的なコスト	12,670,761	△ 368,969	△ 2.8	49.2
4 その他のコスト	1,190,223	△ 20,789	△ 1.7	4.6
経常収益 b	790,667	△ 90,564	△ 10.3	
使用料・手数料等	790,667	△ 90,564	△ 10.3	
純経常行政コスト a-b	24,954,688	△ 796,023	△ 3.1	

- 経常行政コストは約257億円、経常収益は約8億円で、純経常行政コストは約250億円です。
- 経常行政コストは移転支出的なコスト（扶助費、補助費、繰出金等）が約127億円と全体の49.2%を占め、次いで、人にかかるコスト（人件費、退職金等）が約62億円と23.9%となっています。
- 移転支出的なコストにおいては、平成21年度に行った定額給付金給付事業が終了したこと、一部事務組合への負担金が減ったこと等から、約4億円の減となっています。また、人にかかるコストにおいても、職員人件費や退職手当引当金が減ったこと等により約4億円の減となっています。物にかかるコストも前年度より支出額が減少したことにより、経常行政コスト全体では約9億円の減となっています。
- 市民一人当たりの純経常行政コストは、約30万円となっています。

(3) 純資産変動計算書

H22.4.1～H23.3.31(単位:千円)

区分	金額
期首純資産残高	62,769,460
純経常行政コスト	△ 24,954,688
一般財源	20,308,132
うち地方税	8,886,172
うち地方交付税	8,848,933
うちその他	2,573,027
補助金等受入	5,620,366
資産評価替えによる変動額	△ 48,011
その他	128,791
期末純資産残高	63,824,050

(4) 資金収支計算書

H22.4.1～H23.3.31(単位:千円)

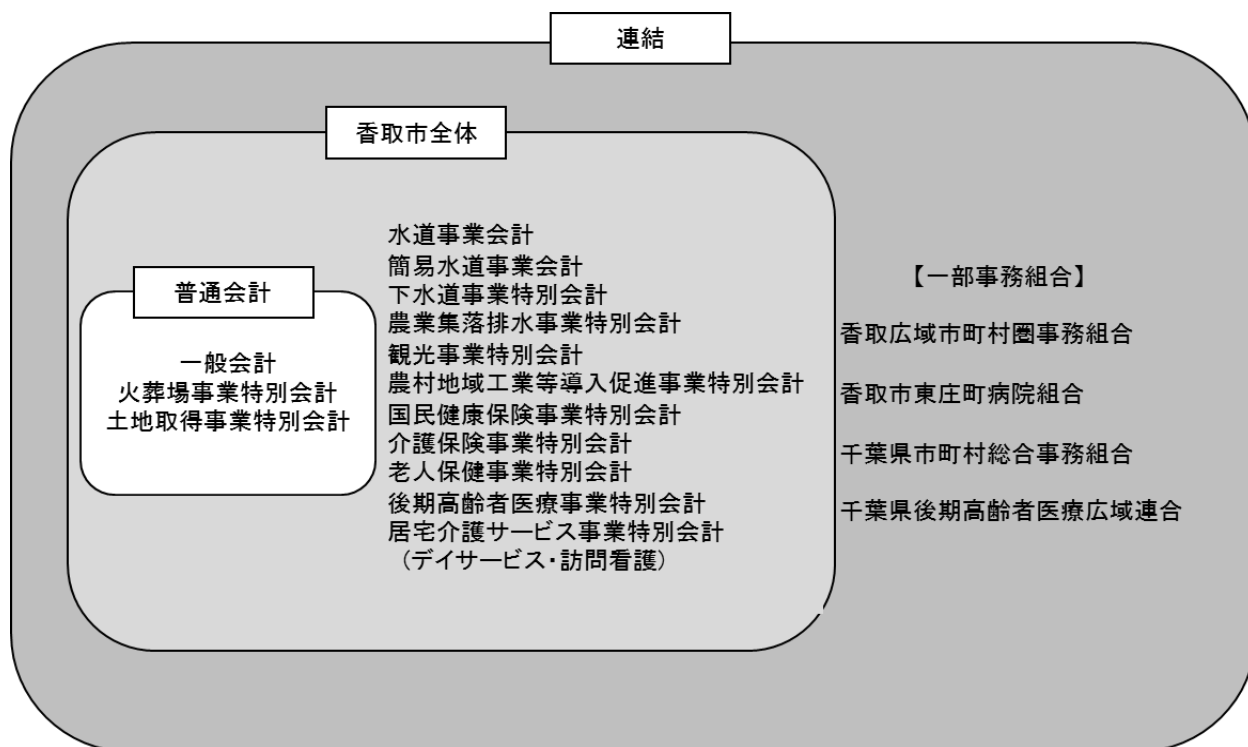
区分	金額
1 経常的収支額	6,639,767
2 公共資産整備収支額	△ 1,547,343
3 投資・財務的収支額	△ 4,492,997
当年度歳計現金増減額	599,427
期首歳計現金残高	1,825,240
期末歳計現金残高	2,424,667

- 純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを表しています。平成22年度の期末残高は、約11億円の増となっています。
- 資金収支計算書は、現金ベースで1年間の資金の流れ（フロー）を表しています。平成22年度は、期末歳計現金残高が約6億円の増となっています。

3. 香取市の連結財務書類

連結財務書類は、普通会計に、水道や国民健康保険などの特別会計と、市が加入している一部事務組合を含めています。

《香取市における平成22年度の連結対象範囲》



連結貸借対照表（バランスシート）

H23.3.31現在(単位:千円)

借	方	対前年度 増減額	貸	方	対前年度 増減額			
[資産の部]			[負債の部]					
1	公共資産	141,671,505	△ 467,069	1	固定負債	64,623,862	5,204	
2	投資等	6,586,784	△ 75,175	2	流動負債	5,470,416	△ 8,512	
3	流動資産	10,220,988	1,886,985	負債合計		70,094,278	△ 3,308	
4	繰延資産	73,713	3,379	[純資産の部]				
資産合計			158,552,990	1,348,120	純資産合計		88,458,712	1,351,428
				負債・純資産合計			158,552,990	1,348,120

- 資産総額は約1,586億円、対する負債総額は約701億円で、純資産総額は約885億円です。
- 市民一人当たりになると、資産は約188万円、負債は約83万円となっています。